

令和 2 年度事業計画

総務省統計局の令和元年 9 月、総人口は減少する中で、高齢者人口（65 才以上）は、過去最多 3588 万人。総人口に占める割合も過去最高の 28.4%日本の高齢者人口の割合は、世界最高となり、高齢者就業者数は、2004 年以降 15 年連続で増加し、862 万人と過去最高になったことが発表されました。

少子高齢化が急速に進展する中で、全国的に人手不足問題が課題となっております。働き方の多様化に応じた人材育成の在り方が求められ、働き方改革の中では多様な人材が個々の事情に応じた柔軟な働き方を選択でき、一人一人の労働生産性を高めていくことが必要不可欠とされています。人生 100 年時代が見据えられる中、シルバー人材センターへの期待は高まり「生きがい就労の提供の場」であり「地域の担い手、働き手」としてますます重要になっています。

昨年秋からの新型コロナウイルス感染症の蔓延、収束が見えない状況下で、働き方を見直し、工夫をしながら今後の展開についても考えていかなければなりません。また、就業の適正化を進め、派遣就業の拡大、多種多様な就業機会の拡大にも力を入れる中で、会員増強は最大の課題です。第 2 次会員 100 万人達成計画に基づく会員拡大計画が示され、全国のセンターが目標に向かって動いています。

当センターとしては、魅力ある組織をめざし、仲間を増やし強固な組織にしていく必要があります。生きがいを見つけ地域の一員として社会に貢献したいという会員と共に「地域に愛され、信頼されるセンター」を目指し歩んでまいりましたが、引き続き、“生涯現役、元気に就業 地域に貢献”のスローガンのもと、会員・役職員共に全員参加の第三次事業改革、二年目を進めてまいります。目標の達成には、組織基盤の確立が急務です。地区長を中心に役職員、地区リーダー、連絡員そして会員同士、地域の会員一人一人が手を繋ぎ絆を深める必要があります。地域班の活動が地域の活性化に繋がり、会員の退会抑止にも繋がります。そして地域ごとの会員の増強及び就業機会の拡大への取組等を確実に推進する必要があります。また、安全・適正就業を徹底し、就業中の事故防止のための安全パトロールの強化、交通事故防止のための講習会や会員の資質向上のための研修会を開催します。

今後とも、会員一人一人が生活に潤いを持ち、センターに関わる全ての人が「働く・学ぶ・繋がる」を意識して喜びある人生をおくるよう努めてまいります。また、それぞれの持つ知識経験を生かし「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、地域社会と連携して、センターの更なる飛躍・発展を目指します。

令和二年度の事業計画実施に当たっては、事業改革基本方針に基づき、次のとおり推進します。

事業実施計画

1. 安全適正就業の推進

安全な就業はセンター事業の基本です。就業中の事故や交通事故を防止する上で、安全適正委員会を中心に、安全パトロールを強化します。就業に対しての安全対策がなされていない場合についての罰則を検討しているセンターも増えている中、当センターは万全な安全対策をして就業に取り組み、重篤事故に結びつかないよう個々の意識改革と就業の現場管理が必要です。

健康管理については、特定健診を含め年1回以上の健康診断を受診、自己の健康意識の啓発に努めます。また、会報等を通じて会員への安全就業の徹底、安全意識の高揚に努め事故ゼロを目指します。引き続き「適正就業ガイドライン」を基に適正な就業に努めていきます。

2. 就業機会の確保

「臨・短・軽」の就業形態が基本であり、安全適正を意識して就業開拓に取り組みます。就業開拓する上で、不適切な就業内容や民業圧迫についても配慮し就業機会の拡大を図ります。高齢者は、高齢者なりに若年者の補佐ができます。今まで培った経験や技術を持ってこれからの次代を担う若年者のサポートをしていくと捉え、支えていく就業を心掛け地域の活性化、地域の発展に繋がるように取り組みます。また、就業機会の拡大と会員の増強は両輪であり、福祉を中心として就業の増加も予想されることから今まで以上に女性会員の増強にも努めてまいります。

3. 会員の拡大及び就業の拡大

第2次会員100万人達成計画に基づき、地域毎に入会説明会を開催するなど地域の会員の拡充に努めます。会員の「自主自立・協働共助」理念を再確認し、地域班の活性化を図り、創意工夫を基に会員同士の絆を深めていきます。子育て支援、親支援の「かるがも児童クラブ」は、市内2か所で運営。共働き家庭の大切なお子様をお預かりする子どもの居場所として、保護者、学校、地域のご協力をいただきながら連携して、安全第一の就業とセンター会員ならではの技術や知恵の伝承を入れ特色あるクラブ運営をしていきます。また、保育園を中心とした子育て支援においてもより一層真心込めた就業に努めます。介護予防・日常生活支援総合事業は、焼

津市と連携し、福祉家事援助事業を含めた福祉総合支援事業とし引き続き推進してまいります。

また人手不足の介護分野にも積極的に就業を進めてまいります。

高齢者活用・現役世代雇用サポート事業は、現役世代の方の労働をサポートするためのシルバー派遣事業です。現役世代の雇用環境を守るためや、会員の就業を確保し、就業の適正化を図るための手法として取り組んでいきます。

これら事業は、地域の発展、焼津市の活性化に寄与していくものですので、行政をはじめとして関係機関と連携してご理解ご協力をいただきながら進めてまいります。

4. 奉仕活動

地域班の構築により、地域ごとの奉仕作業を進めてまいります。会員の利便性を含め住んでいる地域の環境美化等の奉仕作業は、会員相互の交流を深める場、事業改革の一環としてセンターの存在と活動を広くアピールし、働くだけでなく潤いのある組織をめざし、地域貢献に努めてまいります。

5. 事業改革の推進

「生涯現役、元気に就業・地域に貢献」のスローガンを掲げて、第三次事業改革が六年計画の二年目となります。ポイントカード制度も定着し、会員さんによる口コミによる会員募集も成果が出ています。引き続き会員、役職員全員で会員の増強や就業開拓等に取り組んでいきます。下記の項目ごとに検討して、自主自立の安定的な運営ができるよう実施してまいります。

事業実施項目

- ・会員を増やす。
- ・就業機会を増やす。
- ・安全就業の徹底。
- ・事業の活性化。
- ・広報活動の充実。
- ・地域に貢献。
- ・事務局体制の強化。